

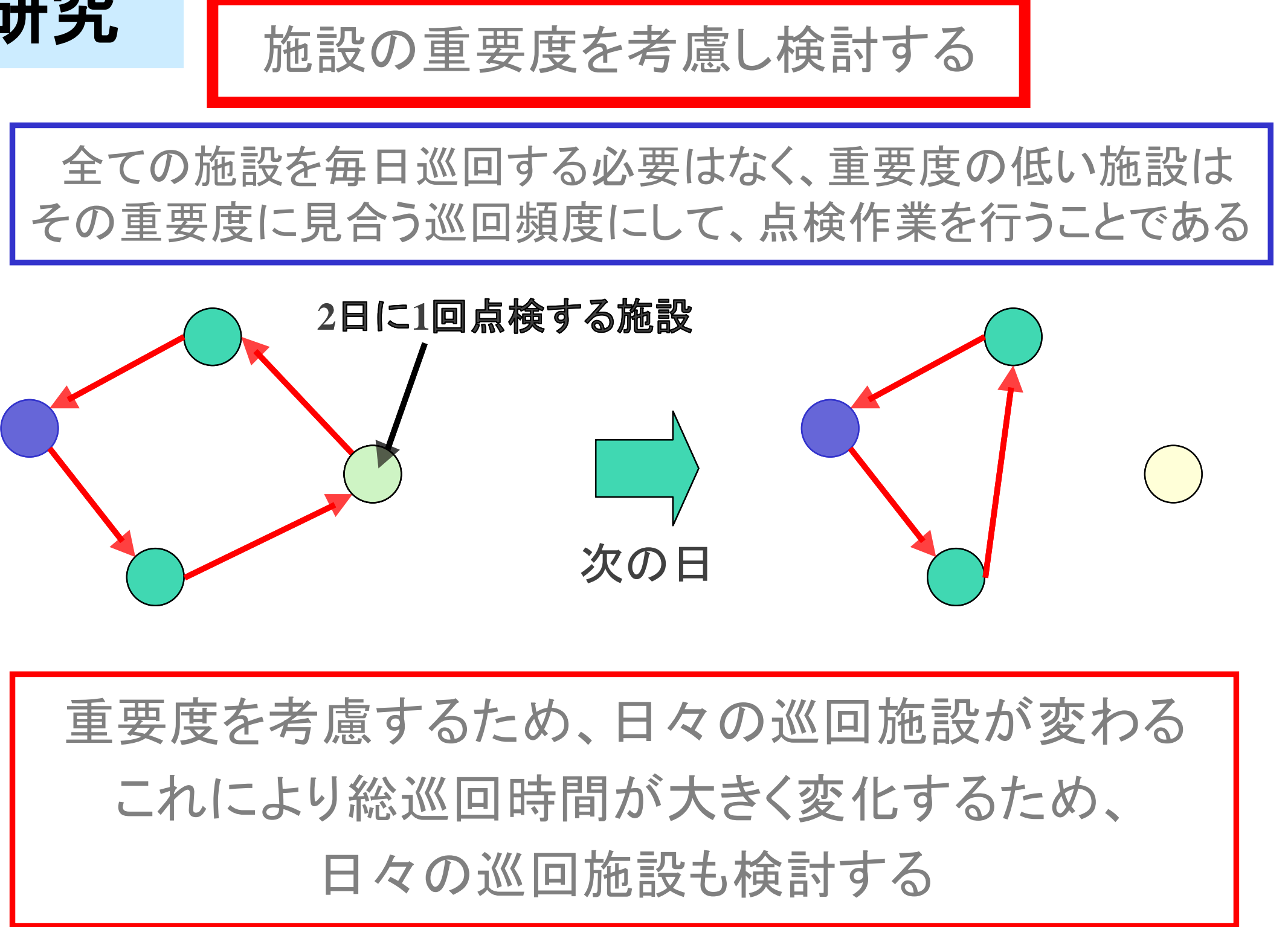
分散して存在する水供給施設の重要度を考慮した巡回点検システムの設計

環境計画研究室 小林啓太

背景と目的

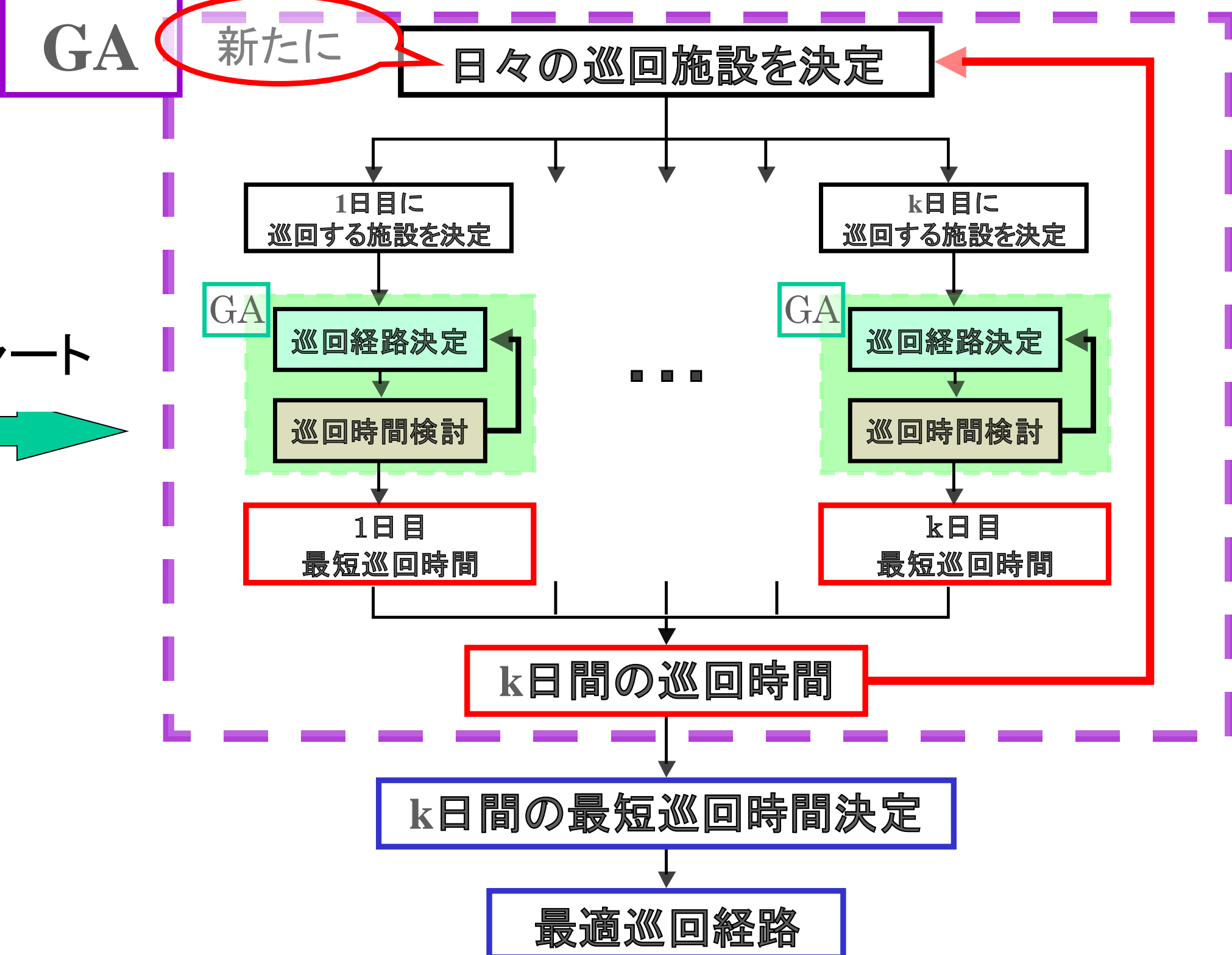
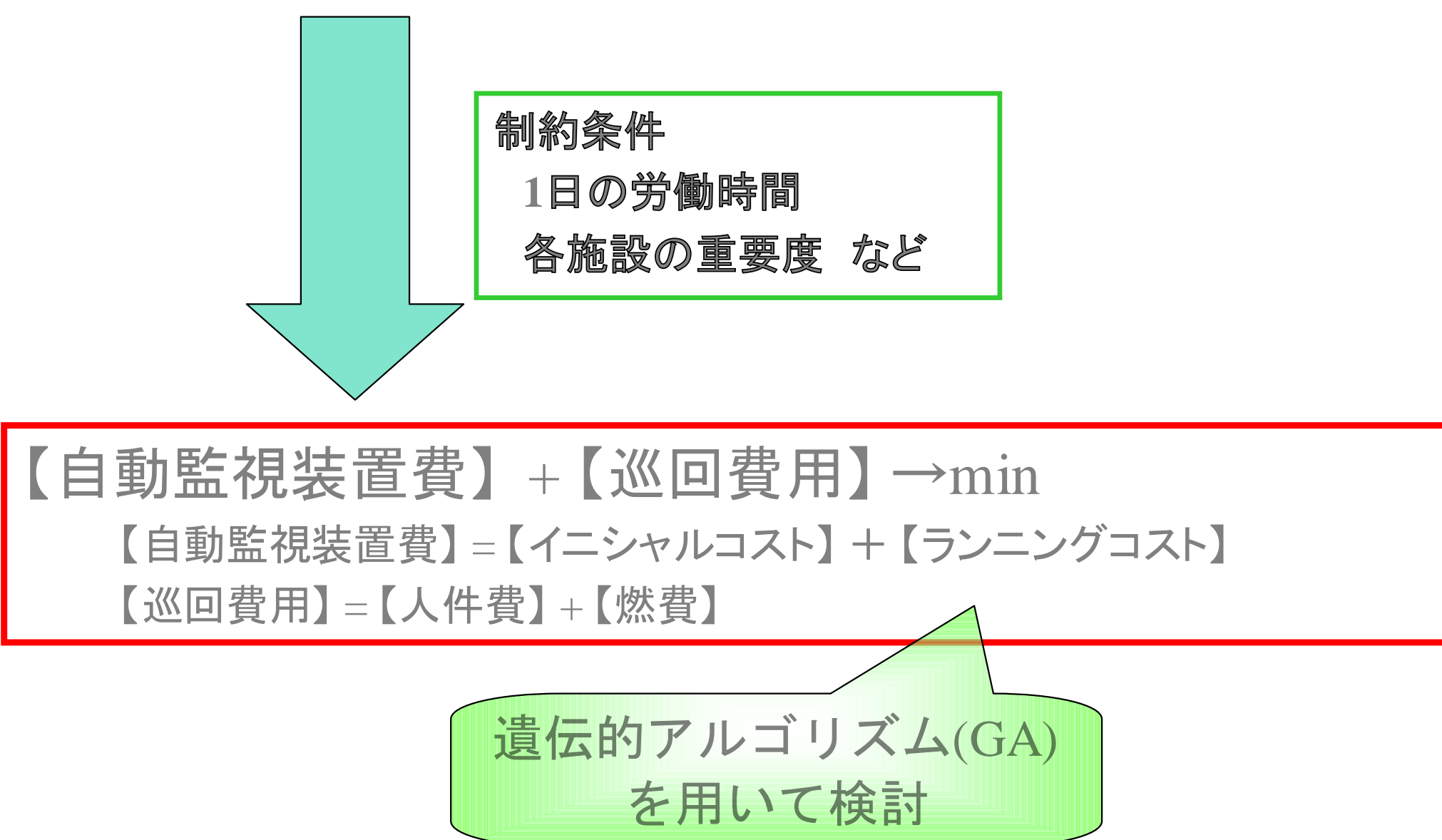


本研究

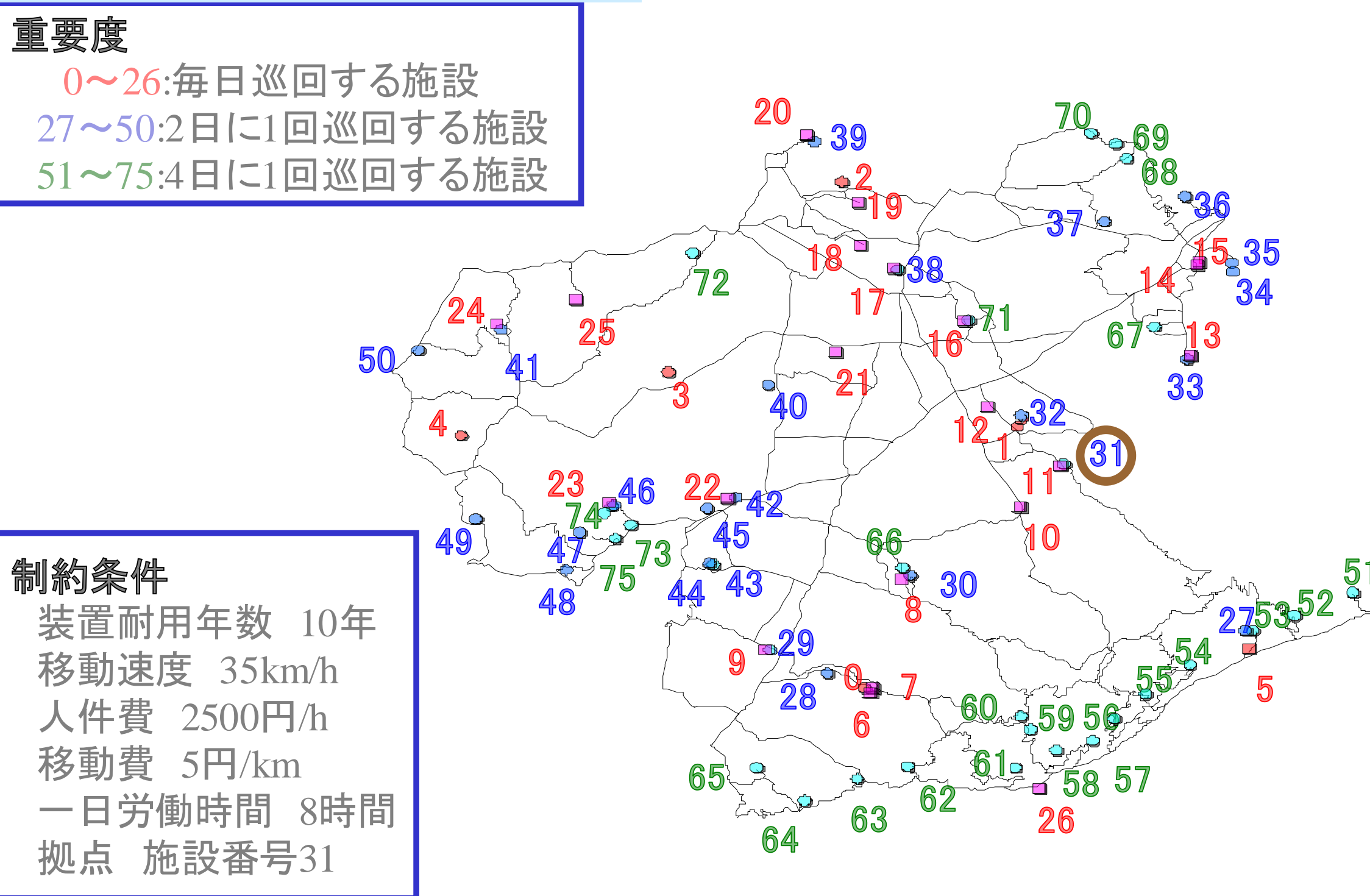


方法

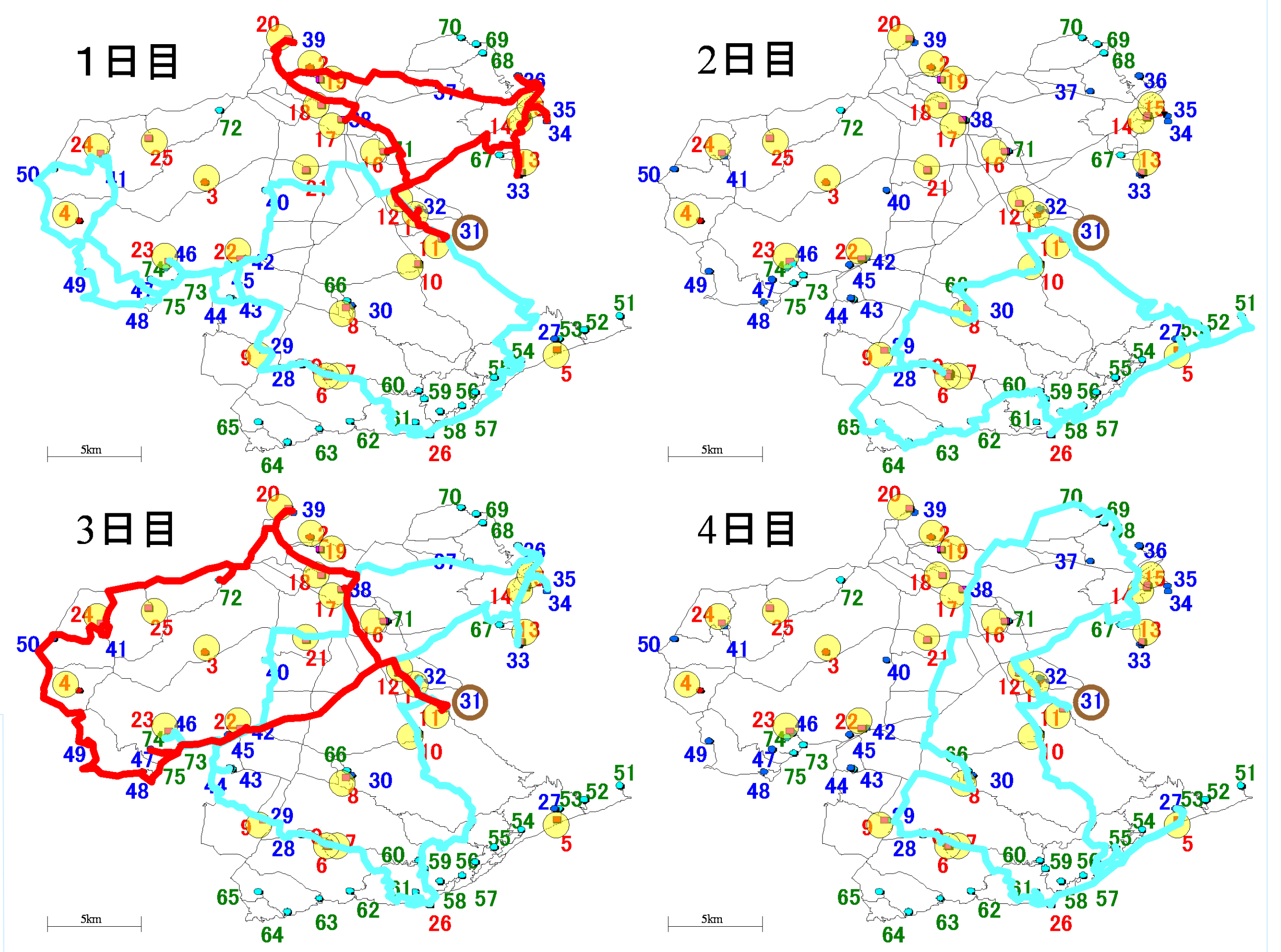
自動監視装置の導入数と日々の巡回施設及び経路の決定方法



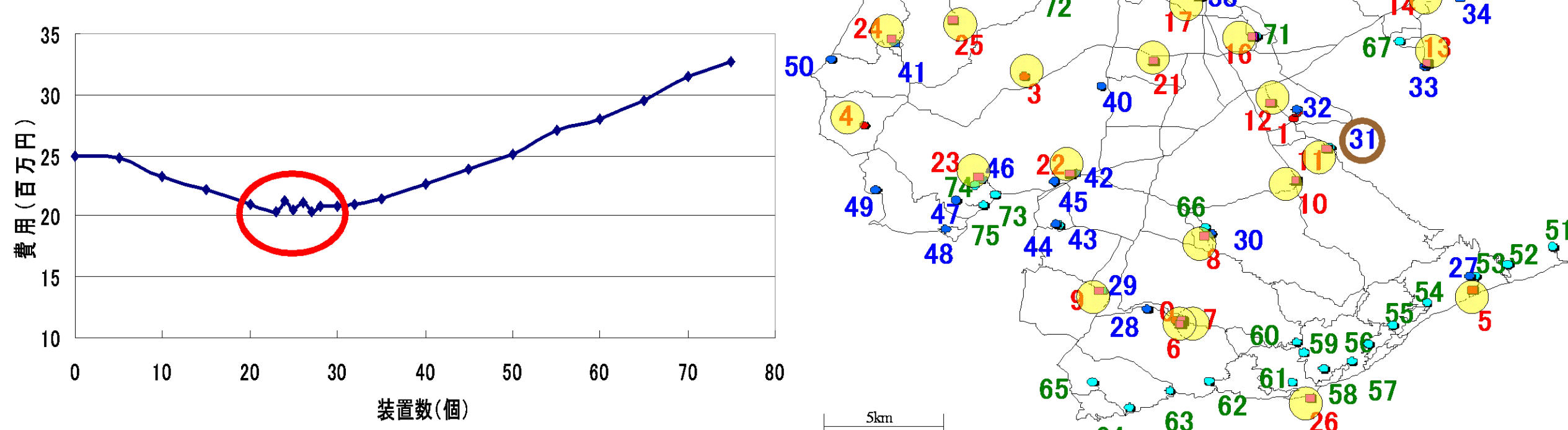
対象地域: 南淡路氏



結果: 巡回経路



結果: 設置場所



まとめ

- 巡回経路**
道路の関係上一概には言えないが、施設の最適巡回経路は円状の巡回経路といえる
- 設置場所**
施設の重要度が毎日、2日に1回、4日に1回巡回する施設としたとき、自動監視装置は毎日巡回する施設に優先的に設置される
これは自動監視装置の設置により1日あたりに削減される巡回時間が重要度に大きく影響しているためである

自動監視装置数5~50個のとき、費用が削減されている

設置数25個のとき、巡回費用は最小化されている

装置数25個の全て毎日巡回する施設に設置されている